

記入例

連絡先 川山行政書士事務所  
電話番号 055-934-4757

様式第1号の1



農地法第3条の規定による許可申請書

令和元年5月20日

沼津市農業委員会会長 殿

<譲渡人>

住所 沼津市東米山1000番地  
氏名 田川 一郎



<譲受人>

住所 沼津市西庄栄2000番地  
氏名 畑山 二郎



下記農地(採草放牧地)について { 所有権  
賃借権  
使用貸借による権利  
その他使用収益権 ( ) } を { 設定(期間5年間)  
移転 }

したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。(該当する内容に○を付してください。)

記

1 申請者の氏名等

申請者	氏名	年齢	職業	住所	国籍等	
					国籍等	在留資格又は特別永住者
譲渡人	田川 一郎	65歳	農業	沼津市東米山1000番地		
譲受人	畑山 二郎	60歳	農業	沼津市西庄栄2000番地	日本	

2 許可を受けようとする土地の所在等 (土地の登記事項証明書を添付してください。)

所在・地番	地目		面積(m <sup>2</sup> )	対価、賃料等の額(円) 〔10a当たりの額〕	所有者の氏名又は名称 〔現所有者が登記簿と異なる場合〕	所有権以外の使用収益権が設定されている場合	
	登記簿	現況				権利の種類・内容	権利者の氏名又は名称
沼津市南米山字高島3000番	田	田	800	8,000	田川 一郎		
〃 3001番	〃	〃	900	9,000			
			計: 1,700	(10,000/10a)			

3 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

契約の種別 賃貸借

権利の設定・移転の時期 令和元年7月1日

物件引渡時期 令和元年7月1日

**記入例**

農地法第3条の規定による許可申請書（別添）

**I 一般申請記載事項**

<農地法第3条第2項第1号関係>

1-1 権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

所有地		農地面積 (㎡)	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (㎡)
	自作地	5,200	2,000	3,200		
	貸付地					
		所在・地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
非耕作地						

所有地以外の土地		農地面積 (㎡)	田	畑	樹園地	採草放牧地面積 (㎡)
	借入地	7,500	7,500			
	貸付地					
		所在・地番	地目		面積 (㎡)	状況・理由
			登記簿	現況		
非耕作地						

**記入例**

1-2 権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑			樹園地			採 放 草 地
作付(予定)作物	水稻	花木						
権利取得後の面積(m <sup>2</sup> )	11,200	3,200						

※権利を有する農地の面積と権利を取得しようとする農地の面積の合計を記載してください。

(2) 大農機具又は家畜

数量	種類	トラクター	田植え機	コンバイン		
		確保しているもの (所有) リース	20ps 1台	1台	1台	
導入予定のもの 所有 リース 〔資金繰りについて〕						

(3) 農作業に従事する者

① 権利を取得しようとする者が個人である場合には、その者の農作業経験等の状況  
農作業暦 32年、農業技術修学暦 年、その他 ( )

② 世帯員等その他常時雇用している労働力(人)	現在: 1 (農作業経験の状況: 28年の農作業従事 )
	増員予定: (農作業経験の状況: )
③ 臨時雇用労働力(年間延人数)	現在: (農作業経験の状況: )
	増員予定: (農作業経験の状況: )

④ ①~③の者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間 2km

**記入例**

<農地法第3条第2項第2号関係> (権利を取得しようとする者が農業生産法人である場合のみ記載してください。)

2 その法人の構成員等の状況 (別紙に記載し、添付してください。)

<農地法第3条第2項第3号関係>

3 信託契約の内容 (信託の引受けにより権利が取得される場合のみ記載してください。)

--

<農地法第3条第2項第4号関係> (権利を取得しようとする者が個人である場合のみ記載してください。)

4 権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況

(「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の2親等内の親族をいいます。)

農作業に従事する者の氏名	年齢	主たる職業	権利取得者との関係	農作業への年間従事日数	備考
畑山 二郎	60歳	農業	本人	250日	
畑山 花子	55歳	農業	妻	250日	
				日	
				日	

<農地法第3条第2項第5号関係>

5 農地又は採草放牧地につき所有権以外の権原に基づいて耕作又は養畜の事業を行う者(賃借人等)が、その土地を貸し付け、又は質入れしようとする場合には、以下のうち該当するものに印を付してください。

- 賃借人等又はその世帯員等の死亡等によりその土地について耕作、採草又は家畜の放牧をすることができないため一時貸し付けようとする場合である。
- 賃借人等がその土地をその世帯員等に貸し付けようとする場合である。
- その土地を水田裏作(田において稲を通常栽培する期間以外の期間稲以外の作物を栽培すること。)の目的に供するため貸し付けようとする場合である。  
(表作の作付内容=、裏作の作付内容=)
- 農業生産法人の常時従事者たる構成員がその土地をその法人に貸し付けようとする場合である。

## 記入例

<農地法第3条第2項第6号関係>

### 6 周辺地域との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響を以下に記載してください。

(例えば、集落営農や経営体への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等について記載してください。)

- ① 取得する田の周囲は水稻地帯であり、取得後もこれまでどおり水稻の栽培をします。
- ② 地域の水利調整に参加し、取り決めに遵守します。
- ③ 地域の農地の利用調整に協力します。
- ④ 農薬の使用方法等について、地域の防除基準に従います。